

令和7年度 学童クラブ待機児童対策計画

区市町村名

文京区

令和7年5月1日時点の学童クラブ待機児童数

68人

1 学童クラブの待機児童が発生している原因

区が進めてきた子育て支援施策の充実に伴い、子育て世代の転入が増加しており、小学生児童数も直近3年間は増加を続けている。また、学童クラブの需要に地域偏在があり、都心区である区内で学童クラブの整備ができる公共施設が限られているため、待機児童が生じている。

2 学童クラブの待機児童を解消するための対策

(1) 方針

既存の学校施設については児童数増により普通教室も不足しているため、学童クラブの増設は難しい状況である。また、その他の公共施設でも余剰のスペースを見つけるのは難しいことから、民間資源を活用し学童クラブを整備する事で待機児童解消を目指していく。

(2) 具体策

民間資源を活用するため、賃貸できる物件と施設運営をセットで提案する事業者を公募する「物件提案型育成室運営プロポーザル」や、学童クラブの整備が可能な商業ビル等の物件を募集し区が賃借することにより、学童クラブを整備する。

3 「学童クラブの待機児童を解消するための対策」を講じることによる効果

民間物件等を活用した方策により、公共施設等の資源が不足する地域においても、ニーズをとらえたスピード感のある学童クラブ整備を行うことができ、地域偏在の課題をクリアしながら待機児童対策を行うことができる。

4 これまでの推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学生児童数	12082	12546	12814
増減	-	464	268
登録児童数	2369	2609	2691
増減	-	240	82
待機児童数	30	76	64
増減	-	46	(12)

5 今後の見込

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	累計
小学生児童数	13037	13061	12923	12646	
増減	223	24	(138)	(277)	
申込児童数	2848	2992	3128	3125	
増減	-	144	136	(3)	
登録児童数	2780	2959	3128	3125	
増減	89	179	169	(3)	
確保策の手法 (当該年度に新規で実施する手法)	学童クラブ施設の新規整備	-	-	-	
待機児童数	68	33	0	0	
増減	4	(35)	(33)	0	(64)